

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓ 272	386	百日咳	↑ 2	0
RSウイルス感染症	↓ 4	5	ヘルパンギーナ	↑ 26	19
咽頭結膜熱	↑ 14	13	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→ 3	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑ 104	76	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↑ 575	513	流行性角結膜炎(はやり目)	↑ 16	10
水痘	↓ 50	65	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↑ 91	84	無菌性髄膜炎	↑ 1	0
伝染性紅斑(りんご病)	↑ 3	2	マイコプラズマ肺炎	↑ 2	1
突発性発しん	↑ 37	33	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↑ 7	5

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- インフルエンザ
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

感染性胃腸炎：山鹿、菊池、有明、宇城  
 手足口病：八代、水俣  
 インフルエンザ：山鹿  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：菊池

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	67	3	7	27	135	20	22	2	9		6	2		13		1	1		6
山鹿保健所	30				24	3			2				*	*					
菊池保健所	25		1	44	117	3	4		5	1	10	1							
阿蘇保健所	6				1								*	*					1
御船保健所	4				13		2						*	*					
八代保健所	28		1	9	41	2	34		7	1	1								
水俣保健所	3			3	15	1	12		2				*	*					
人吉保健所	28		2	4	16		2		1				*	*					
有明保健所	32			7	94	12	1	1	5		2								
宇城保健所	23	1	1	9	92	3	8		2		1		*	*					
天草保健所	26		2	1	27	6	6		4		6			3			1		
計	272	4	14	104	575	50	91	3	37	2	26	3	0	16	0	1	2	0	7

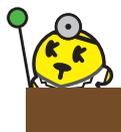
◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	272		6	19	13	16	16	16	7	11	11	11	25	4	17	25	28	18	18	8	3
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	4		2	2																	
咽頭結膜熱	14	1	1	3	1	1	1	1	4		1										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	104		1	3	9	14	13	11	11	10	14	8	9		1						
感染性胃腸炎	575	4	47	103	69	71	55	63	29	22	13	28	40	4	27						
水痘	50	2	5	5	6	7	13	6	4	2											
手足口病	91		5	38	21	17	5	2			1		1		1						
伝染性紅斑	3		1	1				1													
突発性発しん	37	1	15	18	2	1															
百日咳	2			1									1								
ヘルパンギーナ	26		2	11	9	1	2	1													
流行性耳下腺炎	3			1	1	1				1											
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	16				1									1	4	2	5			2	1
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	1			1																	
マイコプラズマ肺炎	2		1															1			
クラミジア肺炎	0																				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	7	1	5	1																	

麻疹(はしか)の予防接種を受けましょう

今年に入り、全国で麻疹の患者報告数が増加しています。現在、平成27年度までの麻疹排除を目標として、麻疹の予防接種の勧奨等の対策をとっているところですが、今年の患者報告数は、昨年1年間の報告数をすでに上回っています。麻疹報告の約8割は、予防接種歴がない又は予防接種歴が不明な患者において報告されており、特に第1期の定期予防接種を開始する前の0歳児や予防接種歴のない1歳児に多く報告されています。

県内では、今年の3月に、フィリピンからの帰国者で麻疹の患者が報告されました。麻疹の感染を予防するために、定期予防接種の対象者だけでなく、中国、ラオス、フィリピン等の海外の麻疹流行地へ渡航される方は、母子手帳等で予防接種歴を確認し、予防接種を受けたことがない方は予防接種をご検討ください。



麻疹とは

麻疹ウイルスを原因とした感染症です。空気感染のほか、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛沫感染」、及びウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」もあります。麻疹ウイルスに感染後、10~12日間の潜伏期間のうちに発熱や咳などの症状で発症します。38℃程度の発熱及びかぜ症状が2~4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発疹が出現します。主な症状は、発熱、発疹、咳、鼻水、目の充血などです。肺炎、脳炎といった重い合併症をおこすこともあります。合併症がなければ、主な症状は7~10日で回復します。治療は対症療法のみです。

麻疹の予防接種を受けましょう

自分が感染しないためだけでなく、周りの人に感染を広げないためにも予防接種は有効です。麻疹の発症を確実に防ぐためには、2回の予防接種を受ける必要があります。麻疹と風しんの定期予防接種対象の第1期(1歳児)、第2期(小学校入学前年度の1年間にあたる児)の方です。対象にあたる方は、早めに予防接種を受けましょう。時期を逃すと接種費用がかかります。接種の詳細については、お住まいの市町村にお問い合わせください。

